

# 令和元年度 実行計画

## 長野地域 ～未来に夢を！次代へつなごう食と農、地域で築こう元気な農村～

### ■ 達成指標

重点取組	達成指標	現状 (2016年)	計画 (2019年)	目標 (2022年)
1	果樹の新規栽培者数（45歳未満、単年度）	32人	32人	32人
	定年帰農等新規就農者数（45歳以上65歳未満、単年度）	4人	8人	8人
2	果樹戦略品種等の栽培面積	1,155ha	1,317ha	1,480ha
	りんご高密度植・新しい化の栽培面積	82ha	97ha	110ha
	生産性を高める樹園地の条件整備面積	396ha	77ha	414ha
3	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積（米・麦・大豆・そば）	593ha	673ha	762ha
	農業用水を安定供給する重要な用排水施設整備箇所数	一箇所	一箇所	5箇所
4	学校給食における県産食材の利用割合	47.7%	49%	51%
	売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額	20億円	23億円	26億円
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,056ha	4,680ha	5,073ha
	野生鳥獣による農作物被害額	1億1,300万円	1億200万円	9,000万円
6	小水力発電の整備箇所数	2箇所	2箇所	3箇所
	持続的な営農や農村の暮らしを守る取組面積	74ha	1,324ha	1,958ha

### 重点取組1：産地を支え未来につなぐ新規就農者や定年帰農者など多様な担い手の確保・育成

- 地域農業を牽引する経営体の育成
  - ・就農相談会による担い手の確保及び農業経営者総合サポート事業対象経営体の経営マネジメント向上を支援
- 担い手への農地の利用集積推進
  - ・「人・農地プラン」の適切な見直し支援、農業委員と農地利用最適化推進委員相互の情報共有、農地中管理事業の活用による担い手への農地集積・集約化の推進

### 重点取組2：新品種・新技術の導入や樹園地の継承・集積で発展する競争力の高い果樹産地づくり

- 消費者ニーズの高い県オリジナル品種等の戦略的導入
  - ・りんご「シナノリップ」、ぶどう「クィーン・ルージュ」等の実証ほの設置、品種検討会の開催等により戦略的導入を支援
- 地域振興果樹の生産安定
  - ・プレミアムあんずの生産安定に向けた検討、品質基準策定による付加価値向上を支援
- 畑地かんがい施設の整備など稼げる果樹経営の生産基盤整備
  - ・畑地かんがい施設の計画的な更新と機構関連事業を活用した傾斜緩和等の基盤整備
- 果物の魅力発信と新商品開発の取組支援
  - ・市町村と連携し、新幹線を活用した果物の魅力の発信により果樹農家の販路開拓を支援



【Sweets buffet の開催】

### 重点取組 3：地域の特徴を活かした野菜、花き、穀物等の産地づくりと環境農業の推進

- アスパラガスの早期成園化、半促成・長期どり栽培の推進
  - ・早期成園化に向け、新規栽培者の巡回指導により継続的な技術支援の実施
  - ・長期どりのモデル農家設置、検討会の開催により、単収向上を支援
- 水稲経営体等の徹底した生産コストの低減と複合化による体質強化
  - ・実証ほ設置による低コスト技術の普及と水稲+α等の経営の複合化に向けた取組みを支援
- 産地づくりに資する基幹的土地改良施設の整備と農地の条件整備
  - ・集約化・効率化に対応した農業用水路の改修と基幹的水利施設の長寿命対策の実施
  - ・農産物輸送の効率化に向けた広域農道の舗装改良や荷傷み防止、粉じん対策のための支線農道の整備を実施
- 環境農業の取組拡大
  - ・GAP導入を推進するため、重点農家、組織等の指導と第三者認証の取得を支援



【芋川隧道の破損状況】

### 重点取組 4：地域資源を活用した食育や地消地産の推進と新たな需要の創出

- 地域資源等を活用した地消地産の推進
  - ・関係団体と連携し、地域の果物を中心とした商談会を開催し、マッチングを支援するとともに、果物の加工ニーズを調査
- 6次産業化等により経営強化を目指す農業者の取組支援
  - ・長野地域6次産業化推進協議会を核とした個別相談、販売力強化の講座開催により経営力強化を支援

### 重点取組 5：皆が訪れ暮らしたくなる農村づくり

- 農村資源を地域ぐるみで守る農村コミュニティ活動への支援
  - ・中山間地域農業直接支払事業、多面的機能支払交付金などの取組推進による農村コミュニティ活動、農業生産活動等への支援
- 地域特産品目の振興や荒廃農地解消に向けた取組への支援
  - ・雑穀類、山菜等の振興に向けた栽培講習会を開催
  - ・荒廃農地解消に向けた各種事業の活用を支援



【鳥獣被害防止柵の設置支援】

### 重点取組 6：活気に満ち安全安心な農村づくり

- 小水力発電等の自然エネルギーの活用を推進
  - ・農業用水の施設管理者に対する普及啓発により、発電施設の設置に向けた取組を支援
- 農村地域の湛水被害を防ぐ施設の整備を推進
  - ・老朽化した排水機場の更新や機能向上と湛水被害が想定される地域の排水能力の向上
- 地すべり施設の整備やため池等の安全対策の推進
  - ・地すべり防止施設の長寿命化計画の策定と地すべり対策事業の実施
  - ・ため池及び基幹的農業用水路の耐震対策や山腹水路の防災対策の実施
  - ・ため池ハザードマップの作成及び防災無線の整備